

6年生の兄と5年生の妹と一緒に制作しました。2人とも幼少期から療育に通っています。2人は普段は仲が良いのですが、療育中はすれ違う場面で言い争う等、喧嘩も多くありました。高学年になるにつれて喧嘩が目立ち、リハができないこともありました。そこで、2人とも創作活動が好きのため、OT発信で今回のスイカづくりを提案しました。紙をちぎる作業と貼る作業で分け、役割を分割しながら言い争うことなく作業を進めることができました。時間が足りないときは何も言わずに手伝ってあげることができ、「こうすればお兄ちゃんらしくなるね」と工夫する様子も見られています。今回表紙に採用していただいたことで、2人とお母さんの喜ぶ顔が見られました。今後も2人が、作業活動を通して仲良く助け合って成長してほしいと感じました。(担当 OT: 日高美友)



※作者名はご本人たちが考えたニックネームです。

今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



猿谷とも江「ヒマワリ」

この向日葵を描くのに対して明るくって良いのですが、描くのに苦労しました。一生懸命描きました。(猿谷とも江)

作者はもともと絵が好きで、作業療法の「絵画クラブ」では色鉛筆を使用していました。新しく取り入れたカラーの筆ペンを使用するようになって、作品の深みがさらに増しました。上肢の振戦や気分の変動等で活動に参加できないことも多いですが、「絵を描くことは苦労するけど楽しい」と話されている通り、絵画に取り組むときには上手に折り合いをつけながら活動しています。(担当 OT: 安田真実子)